



尚和会報

写真=現校舎玄関と正面の桜

尚和会総会のご案内

5月17日(日) : 華やかに ホテルアイボリーで!!
(豊中駅東口すぐ TEL 06-849-1111)

- ◆ 総会 —— 12:00～12:30 (受付 11:30～)
- ◆ 立食パーティ —— 13:00～14:30
- ◆ アトラクション —— ・菊川啓次とその仲間達 (ウェスタンバンド)
・お楽しみ福引
- ◆ 会費 —— 4,000円 (新卒者: 2,000円)



92

平成4年5月1日

発行 —————

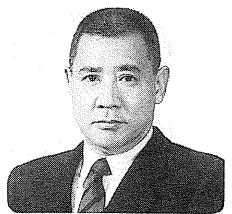
尚和会

旧大阪府立豊中高等女学校 同窓会
大阪府立桜塚高等学校
〒560 豊中市中桜塚4-1-1
TEL 06(853)2244

発行責任者 谷田 探成
編集責任者 井上 敏子

平成4年5月1日

尚和会報



ご挨拶
尚和会会长

尚和会会員の皆様にはお変わりありませんか。まずはお伺い致します。尚和会のために、何かと御協力賜り、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。我々の母校桜塚も今年は創立十五周年の小さい節目を迎えます。平素は尚和会のために、何かと御協力賜り、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

追悼

水田 紀久

岸谷誠一校長の後任には同じく東大国文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

旧豊中高女以来の田中喜久三校務主任に代り、豊中中学より交流して來た武田国彦教諭が選ばれた。

老いも若きも巻き込んでのすさまじい人間関係に、新参者だった私も集団社会の縮図を否応なしに学ばせられた。

先生が着任早々、修学旅行で阿蘇爆発に遭い、参加費を新聞配達して時えた池田の井上哲夫君が、火山弾で遭難した。校葬では倉田順雄教諭が涙ながら中辞を読んだ。「ぼくは事故男たよ」と、これはその後転任先で起った生徒の事故で、この時の追憶と併せ自嘲された松浦先生のことばであった。

思えば、ひどい時代であった。組合活動、とりわけ勤評闘争には皆それぞれ色々な形でかかわった。

支部長近藤宏教諭は停職処分を喰つた。それがきっかけで政党に入った同僚も、何人か居た。後に府教委と組合は和解こそされ、強制異動のまま年老いた友が居る一方、中堅研修を了え管理職に就き、それなりに苦労もして、今は共に定年を迎える第二の職を得た友も居る。団交が続いて、松浦校長は体調を崩し、阪大病院に通院、ついにPTAの役員が経営する医院に退避の仕儀となつた。お互いに人権すれすれのことを容赦なく行つた。

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

東大國文科出身の松浦良雄先生が着任された。東京府立三中、一高、東大と堀辰雄が同期、そして卒論は近松のライバル紀海音と聞いた。

東京下町の商家の出で鳥越神社の氏子。神主は能の家元だった由。

長男峻君も転校して来、三年時の同級生野辺順子さんと結ばれ、担任は先生の昔の教え子近松淳一教諭であった。

平をともかじりとく
たらうらに過ぎし命と
山房よくゑのあらじ
たたへん

そんな時、校長は若い私たちにひと言、「勉強を忘れてはだめだぜ」と、半ば諭すように言い置かれた。いまにして身にしめる。合掌。

(お亡くなりになる三百日程前に)
(作られた自筆のお歌二首)

日 時		慰 靈 祭	
平成四年六月七日(日)	受付 午後二時より	法要 午後二時より	
			● 場 所 冷雲院
四〇六・三二・四〇五五〇	(昭和六十二年以降に)		● 場 所 大阪市北区野崎町四・四
			高校六期 後藤文子(中村)
			高校九期 吉田亜美(水野)
			高校八期 原田祥子(中井洋子)
			高校十期 福見勝彦
			高校十一期 山本雅敏
			高校十四期 松原貞治
			高校十六期 坪井啓子(寺崎)
			高校十七期 海原千恵子(中野)
			高校十八期 池島萬紀子
			高校十九期 山下裕子(柏原)
			高校二十期 恩
			田中栄次郎先生
			正田猛夫先生
			椿 春子先生
			松浦良雄先生
			大塚正美先生
			高女一期生 旧姓
			高女二期生 為近恒子(島村)
			藤田澄子(筒井)
			山田一郎
			高女三期生 山下千恵子
			高女四期生 加美長和子(山田)
			高女五期生 手島万里子(吉田)
			高女六期生 小山徳久枝(大西)
			高女七期生 高女一期生
			高女二期生 小山恵美子(村田)
			高女三期生 永井保子(田辺)

渡辺庸子(牛田) 三・七・六
併中二回 横田弘子(明石) 二・一
高校二期 谷川康子 三・二
高校三期 原田祥子(中井洋子) 二・四・五
高校五期 福田光子(中井洋子) 二・六・三
鹿島博 三・九・七
清家通夫 二・二・三
吉田亜美(水野) 三・二・七
原田祥子(中井洋子) 二・四・五
福見勝彦 二・二・七
武富毅 三・一
高女一期生 旧姓

林英二 二・六・一
羽東正昭 二・六・一
この号より訃報欄を作り、平成二・三年に亡くなられた方を載せました。御冥福をお祈り致します。

尚和会平成三年度活動報告について
行司担当副会長 荻野哲男

二・三年に亡くなられた方の法要

第一回は、平成四年九月、その記念すべき第一回は、大和

屈指の花の寺、長谷寺と室生寺へ、

さわやかだった。」というよう

話をされた由。

さわやかだった。」といふ

事話をされた由。

諸般の事情により開催されなかつたが、平成四年度は別記のとおり、新しい企画で開催の予定である。

新規企画活動について

多数の会員を抱える尚和会の活

性化の一環として、「名所、旧跡

を巡る会」が発足した。

その記念すべき第一回は、大和

屈指の花の寺、長谷寺と室生寺へ、

さわやかだった。」といふ

話をされた由。

さわやかだった。」といふ

鐘のひびき

卒業五十周年に寄せる

高女一期 内藤(萩原)純子
五十年前の十二月八日。朝礼で、中山敏雄校長から、口米開戦にかかわる訓示を静聴した時の異様な光景を今も忘れない。旧制豊中高女五年生。セーラー服、娘盛りの心は複雑だった。

あれから半世紀。日本がさまざまに変容する中で、私たちはそれの人生を生き抜き、卒業五周年を迎えた。記念すべき同期会に先んじ、同期生各位の真摯な生きざまに心から敬意を捧げる。

家庭の主婦業と趣味に徹した人、社会業をなし遂げた人、教育あるいは芸道一筋の人、企業内戦力として地道に歩んだ人、公務員、自営業、そして急速に問われてきた福祉(民生委員、ボランティア)に関わる人など、私たちが歩んだ道は多様性に富んでいる。

進学、就職、結婚何れも自分の自由意志で選ぶのは難しかったあたり——それが故にきびしい年月を重ねたに違いないのだが、後半生は価値観多様化の潮流にのつて、自由な選択による個性的な晩年を迎えたことを共に喜びたい。

Fさんは、十五年あるいはもっと以前から、視覚障害者のための点訳ボランティアを続けていると聞き、ひそかに尊敬していた。そして私も縁あって、ある障害者作業所のボランティアと呼ばれる日常を送っている。ボランティアとてはずっと先輩の彼女にこの寄稿をお願いしたが、「ほそぼそと続いているだけだから」と辞退された。何故か、涙が滲んだ。

最近、作業所の本棚にあった吹田市障害児育成教室ボランティアサークルこぶたの文集に、桜塚高校一年の人たち七名もの感想文を見出し、老いの感動は極まった。

平成三年十月二十七日(日)
幹事 安松和子 永井徳子
郵便局振替口座開設のおしらせ
池田市石橋郵便局 大阪 5 321378
「豊中高女三期会」
世話役 若松 栄

平成三年度高女四期生会
井上(木場)、金沢(水野)、歸磨(森)
少肉多菜 少糖多果 少衣多浴 少煩多眠 少言多行 少欲多施
十訓を書かせて頂きます。
次期幹事
春たけなわの四月二十日(土)
神戸「第一樓」にて高女三期生会の席を設けました。うららかな好天に恵まれ、集うは三十一名佐々木先生(旧速水)を明み中華料理に舌づみをうち、和やかな一時を過ごしました。帰路揃って近くの神戸市役所新庁舎二十四階の展望台より六甲山や開けゆくポートアイランド等の素晴らしいパノラマに満喫し三々五々解散致しました。

次回には是非多数参加されまして旧交を温めて頂きたいものです。同期の皆様、変わりなくお過し下さいますように。

次期幹事
高女三期会
井上(木場)、金沢(水野)、歸磨(森)
少肉多菜 少糖多果 少衣多浴 少煩多眠 少言多行 少欲多施
十訓を書かせて頂きます。

かねてからの計画通り昨年十月十九、二十日と私達は還暦記念旅行に出かけました。十月中は台風で雨ばかり、それも一ヶ月で一年分の雨量というにも拘らず、両日はまるで奇蹟の様に雲一つない晴れとなり天は私達に最高のプレゼントを下さいました。

ホテルでの夕餉の席では思い思いに対話を経つのを忘れていました。夕食後は、各自の名簿の出現により(当時の名簿はなぜか身長順)一年入学当時のクラス別に着席、各担任の先生から出席をとって頂きました。「ハイ」と立ち上がったとん、五十年前の少女にかかり、いたずらっぽく名簿順に並び、その後の成長ぶり?を披露致しました。会食しつつ、先生方や友の思い出話に感激したり、笑いころげたり:でも、どうしても戦争につながっていくのです。太平洋戦争開戦の年入学、敗戦の年、四年生で卒業の私達は、戦争しか知らない女学生"であったのです。アルバムも修学旅行もなく、学徒動員につながる日を、記念誌『四年の日々』を発行することによって、五期生の足あとを残すことにしたのです。会食の後、同期の山本チエ子さん、保健婦としての豊富な経験を語っていました。すると、今若者と私たち」と題して語って頂き、現代の性と幼児教育、エイズへの警鐘等に深い感銘を受けました。

楽しい四時間は瞬く間に過ぎ、最後に井上先生のリードで「早春賦」を歌い、あの日、あの時の教室の中にいる私達になつてしましました。五十年間続いた友情、健やかに会えた今日の幸せに、体中ぬくめられて別れゆきました。

ご病気療養中と聞く方々、どうぞ一日早く快復されることをお祈りしています。皆様、次の五期会にまたお会い致しましょう。

今ある幸を ふみ越えし 茨の道は帰らずに 友は語りぬ

(7)

定十三期桜会

小畠・土田・中尾

平成二年九月二十八日（土）お彼岸を過ぎたとはいえ、多少むしむしした口でしたが、十六期生一同勇んで同窓会に集まりました。会場は、虎の門パストラルでなかなかいい雰囲気のところでした。四十名のものと若者ばかりとても元気で、その昔、この人数以上で一クラスが編成されていたと思うと、先生方の御苦勞が偲ばれました。大阪からも、新井君、岩中君、前川君、渡辺源さん御夫妻、なかちゃん、小田切さん、それから森本さんも飛び入りしてくれて、とても楽しい会でした。卒業アルバムを見ながら「えっ!!」とか「え……？」とかの声がとびかい、その次はお互いに「変わったね!!」と言い合っている声があふれましたが、本心かな? 確かに話をしたすと、三十年近い年月はふっとんできき、高校時代に戻った気分を充分に味わいました。しっかり飲んで食べて、ビンゴゲームをやって家族へのおみやげも確保

私達定時制十三期は、早いもので来春三月に母校卒業満三十年を迎えるとしています。

卒業して二十年を経た頃から、お互に声をかけ合って集まるようになります。そして会の名前を“十三期桜会”として年一回から二年に一回集まり、昨年は第八回目の会を九月二十一日・豊中駅前の“おひる”でもちました。

先生方のご出席は得られませんでしたが、男子九名・女子十三名の参加で和やかな一時を過ごすことができました。

来年は、記念すべき三十周年の会を六月頃にもちたいと思っておりますので、同期生皆様のより多くの参加をお願い致します。

卒業二十五周年記念 同期会に参加して

高校十八期 平林(島田)由美子

去る十一月三十日(土)、大阪 東急ホテルにおきまして、卒業二十五周年記念同期会が開かれ、友人と誘って参加致しました。

フルートの生演奏の中、胸をワクワクさせながら、会場の中に入りました。薄暗い照明の中、紛れもなく、おじさんおばさんになつてゐる顔、顔、顔……。明るくなつたのが怖かった。前日に卒業アルバムを引っぱり出して、見ていて良かつたこと。お喋りをしていると、昔の面影が浮かんてきて「ちつとも変わつてないなあ」という言葉があちこちから聞こえてくる。二十五年ぶりに歌う校歌も新鮮に感じられ、私の友人などは、一週間位耳から離れなかつたとか。先生方のお元気で、なおかつ活

して、派手に騒ぎました。関東周辺にこれはど沢山の桜塚の同期生がいると思うと、とても心丈夫な気がします。あつという間に時間が経って別れがたく、六本木でのカラオケ二回会、続いて銀座へやりだして、しゃれたお店で三次会などと流れて、大盛会でした。桜塚の時は殆んど話をしたこともなかつた人とも、同生となるととても気易く話がはずんで、次回もぜひ参加することを約束して散会になりました。



32

各方面の第一線で活躍してらっしゃる皆様のうわさを聞くにつけて、誇りに思います。会社、学校、地域など、意外なところでの結びつきに、友達の輪もどんどん広がる事でしよう。

躍されてる姿を拝見し、本当に嬉
しい反面、我が担任の山口ウメ子
先生の姿がもう見れないのが残念
でなりませんでした。

関東など、遠方からも多数出席
され、会場いっぱいの大盛況でし
た。お料理もたっぷりの上、プロ
の司会、フルートのバッカグラン
ド・ミュージックなど、演出効果も
抜群で、一層盛り上がりました。
幸せな、華やいだ気持ちで会場を
後にしたのは、私だけではなかっ
たはず。本当に楽しい一時を過ご
させて頂きました。

頂いたのがとても印象的でした。いつまでも、私達の事を思つて下さるのだなあと感激しました。

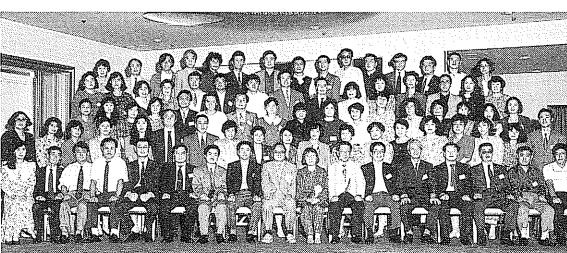
生、辻内興彦先生、牧末男先生、町野道昌先生、古川盛久先生にご出席頂き、楽しい一時を過ごすことができました。

卒業して二十年が過ぎたのですが、すっかり高校生の気分に戻つて、久し振りに会う仲間達との楽しいお喋りに、予定の時間もあって、という間に過ぎてしまいました。

二度目の同期会があつた今回は不明者の住所調べや参加の呼びかけなど、多くの人達の協力によつて素晴らしい同期会ができたと思ひます。一人一人の力で同窓会が成り立つてゐることを強く実感しました。

そして何より嬉しいのは、今回の同期会をきっかけに、去る十一月一日に東京同期会が十六名の参加で開かれたり、また、クラス会が開かれたことです。

でしたが、どちらが先生かしらと見間違ふ人もあり、一瞬、挨拶をしたが、女性の方は、だいたいが中学高校生と子供も大きくなり、子離れして、ますます美しく、余裕も出て女盛りといったところです。先生方も、井上まさ先生は、五年前とは、少しもお変わりなく私達一人一人の自己紹介のスピーチを目を細めて、身を乗り出して、お聞き頂いたのがとても印象的でした。いつまでも、私達の事を思つて下さるのだなあと感激しました。



西成 3 年 9 月 22 日 楊振寧校 20 期生同鄉會 於 麥堅西律士元

日本の装置を洗う

株式会社 日進ポリピック

メカニカルクリーニング工法

代表取締役社長 田中敏勝（高校10期）

ピグクリーニング工法

TEL 06-854-2588
FAX 06-848-3191

●建築資材・住宅機器・有力メーカー代理店 ●

毎日新聞信頼住宅開発グループ

木造りの会 北摂西支部

〒666 兵庫県川西市久代2丁目1-13
電話(0727)59-0500(代表)

株式会社中央木工

尚 和 会 會 報

平成4年5月1日

東京尚和会創会		高女五期生会	
東京尚和会の皆様、お元気にお過ごしていらっしゃいましょうか。	と き 一九九三年五月下旬	高女七期・高校一期	皆様、お元気にお過ごしの事、お慶び申上げます。
昨年一年間隔をあけさせていた	こころ 豊中 ホテルアイボリー	左記のように同期会を催す予定	左記のように同期会を催す予定
だきましたが、本年十月三日第一	当 番 豊中市在住者	をしております。多数ご参加下さいますよう、幹事一同お待ち致しております。	をしております。多数ご参加下さいますよう、幹事一同お待ち致しております。
土曜日に左記要領で、第三回総会	来年です。おまちがいなく!!	高女七期・高校一期	高女五期生会
を予定いたしております。同窓生によるアトラクションもございま	十一月五日(木)	十一月五日(木)	十一月五日(木)
す。この機会に、同期会も兼ね、	場所 市ヶ谷会館	有馬グランドホテル	有馬グランドホテル
賑やかにお越し下さいませ。	尚往復葉書を七月中に御送付申	詳しく述べは、後日、御案内致します。	詳しく述べは、後日、御案内致します。
ます。	し上げますので、八月末日迄に御	幹事・有馬(片木)、小川(林)、	幹事・有馬(片木)、小川(林)、
返事いただけますよう御心積り下	返事いただきますよう御心積り下	平野(柴田)、木上(今井)、安井	平野(柴田)、木上(今井)、安井
さいませ。	さいませ。	、	、
担当幹事 高校六期	西見 佳代	有馬(片木)	有馬(片木)
日 卒業五十周年記念同期会	下村伊津子	日本四十年記念四期会	日本四十年記念四期会
高女一期生		「卒業四十周年記念四期会」を次	「卒業四十周年記念四期会」を次
電話 ○七八・七〇六・三七一		の通り開催致します。	の通り開催致します。
交通 六月十六日	J R舞子駅下車徒歩十分	私達の卒業期は昭和二十七年、	私達の卒業期は昭和二十七年、
十一時～十六時 懇親会	山陽電鉄舞子公園駅十分	日本の世相にようやく明りがさし	日本の世相にようやく明りがさし
十八時～二一時 二次会	霞ヶ丘駅十分	はじめた頃です。進駐軍おろしの	はじめた頃です。進駐軍おろしの
宿泊のため十部屋をおさえてあ	○七八・七〇六・三七一	アメリカンポップスに蒼い心を震	アメリカンポップスに蒼い心を震
ります。記念品もあります。		わせた時代でもありました。	わせた時代でもありました。
卒業四十周年記念同期会をした		そんな昔日を企画と会場に凝縮	そんな昔日を企画と会場に凝縮
のは、ついこの間でした。今元氣		します。集って、ひたって、ストー	します。集って、ひたって、ストー
に過させていただいてる方々是		ムすれば、過ぎし日々の一片が人	ムすれば、過ぎし日々の一片が人
非お集り下さい。		それぞれに甦ることでしょう。	それぞれに甦ることでしょう。
高九期三十五周年記念同期会	日時 平成四年五月三日(日)	お誘い合せて、ぜひご参加くだ	さい。四十周年を全員の笑顔で!
	会場 卒業40周年記念四期会実行委員会	さい。四十周年を全員の笑顔で!	さい。四十周年を全員の笑顔で!
会費 一万円の予定	詳細は九月中旬にご案内します。	日時 H四年十月二十四日(土)	日時 H四年十月二十四日(土)
		P M 2 : 3 0 0 - P M 6 : 0 0	P M 2 : 3 0 0 - P M 6 : 0 0
		スチュードベーカーズ(大阪・梅田)	スチュードベーカーズ(大阪・梅田)

場所 東洋ホテル 二階
(北区豊崎三一六一九)
(〇六) 三七二一八一八一
地下鉄御堂筋線中津駅下車
又は、阪急電車中津駅下車
同期の皆様方には、既にご案内
させていただいておりますが、参
加等の変更がありましたらご連絡
下さい。
小林武夫 ○七七一六一五一四三
味吉純子 ○六一八五三一四七九〇
連絡先

高校十期「一・六会」
私共高校十期、一年時のクラス会
「一・六会」を三年に一度行つて
ます。次回も多数御出席下さい。

一〇三 千代田区一番町九一四、
ユニバリス一番町八〇四
藤崎 達
六〇三一三二六三一九二五
上野隆司・丸山(信開)憲子

高校二十一期

高校十四期生
卒業三十周年記念同期会春開催
十四期生の皆様、その後お変わり
ございませんか。

五年前、豊中のホテルアイボリー
で卒業二十五周年の同期会を催し
ました。その後、昭和から平成に
変わり気がつくと私達も四十年最
後の踏ん張り時となっていました。
昨年バブルが崩壊し私達の身のま
わりも色々と様変わりをしようと
しています。そんな今、若かつた
あの頃、希望に燃え、全力投球し
ていたことを思い出しながら、樂
しい一日を過ごそうと記念同期会
を計画しました。忙しい毎日を送っ
ておられることと思いますが万障
繰り合わせの上、ぜひご参加下さ
いますようお願い致します。

第二回「名所、旧跡を巡る会」の開催について

第一回「名所、旧跡を巡る会」に参加して

高女一期 春日 小岱子

秋たけなわ：第一回「名所、旧跡を巡る会」総勢三十五人を乗せたバスは一路大和の室生寺へ、女人高野と呼ばれ、平安初期の建造物も残る（本堂・五重塔）石楠花の寺、そこには渡岸寺、羽賀寺のそれと並び称せられる国宝十一面観音、日本三如意輪の一つと言われる如意輪観音（重要文化財）、掌にのせて持ち帰りたいような五重塔など、何時にも変わらぬ静かなたずまいが私たちの旅情を慰めてくれた。

写真家土門拳が「雪景色を撮るぞ！」と泊まりこみで待機したという橋本屋での昼食

吉田（藤繩）裕理子

日時 五月九日（土曜日）

場所 新阪急ホテル、二階、星の間

案内状は後日郵送させて頂きますが、住所の変更がありましたら左記幹事宛ご一報ください。

田辺正子 ○六一八五三一三三九
辻 康一 ○六一八四三一七六四二
佐藤勝哉 ○六一八五四一〇〇九五

○七二七一五一—五六八七

第二回「名所、旧跡を巡る会」の 開催について

- 行先：そうめん、醤油、赤とんぼで有名な城下町龍野を探訪（バスツアー）
 - 時期：平成4年9月27日（日）
 - 参加費：7,000円
(昼食代を含む)
 - 申込方法：ご希望の方は7月末迄に下記宛に会費を入金して下さい。

郵便振替
「尚和会サークル」
大阪 6-3240676

なお振替料はご負担下さい。申込者には集合場所、時間など詳細をお知らせ致します。

会員募集！
尚和会サークル「名所、旧跡を巡る会」

高校二十六期同期会

・平成六年に卒業二十周年記念
同期会開催予定

・現在有志数名で準備にとりかかっています。クラス会等催されていきます。いる方ご一報下さい。

申込先 〒560 豊中市中桜塚 4-1-1
大阪府立桜塚高等学校内 尚和会 行事部 宛

極め付き山菜料理は言うことなし。

帰路を牡丹で知られる長谷寺へ。長い回廊を昇り、大きな錫杖を持ったにこやかな一面觀音に手を合わせて、帰途に着く。バスは午後七時、豊中駅前往、それぞれの思いを胸に解散した。

事故で悩んでおられる方、
自動車保険や火災保険を見直して、
少しでも節約したいとお考えの方、
その他何でもお電話してみて下さい。

まごころでサービス

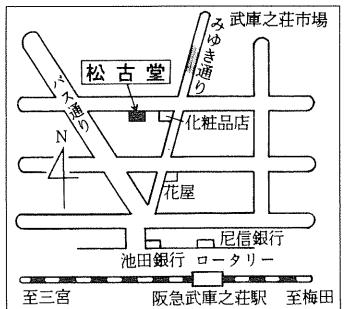
書畫陶古堂

尼崎市武庫之荘 1 丁目12-16

TEL 06-433-3358

北野 恵三

北野定子(香取貞子)
(高校4期)



江畑弘子 杉田律子 関本洋輔 岡崎里美
桑田誠 井上友宏 川嶋紀子 吉田喜美
木花楳子 中村久雄 田中勝美 井上綾久
花田治雄 万代昌良 戸内省吾 井上綾久
幾尾美代子 中野泰子 吉本純子 福原直子
蛭山美恵子 小川幸子 岡本千代子 田中勝美
森川五郎 中野泰子 吉本純子 福原直子
高貴良子 木花楳子 中村久雄 井上綾久
井上義雄 木花楳子 中村久雄 井上綾久
岡本洋輔 岡本千代子 田中勝美 井上綾久
関本洋輔 岡本千代子 田中勝美 井上綾久
吉田喜美 万代昌良 戸内省吾 井上綾久
井上綾久 万代昌良 戸内省吾 井上綾久
杉田律子 関本洋輔 岡崎里美 桑田誠
高田和典 岡崎里美 井上友宏 桑田誠

山村幸恵	朝山浩志	中井利子	松山清子
木村幸理	石川真理子	高山清子	森本弥生
内田俊一子	福岡久美子	木村姚子	三品久美
浜口いつ子	長戸勇二	木下圭子	新保正秋
	加藤祐基子	岡崎和子	境公子
	岸上義栄子	木梨順之	黒木美穂子
	水谷真弓	林辻綾子	大西佑知子
	中尾友香	梅原和美	門坂百合
	上裕美子	平井みどり	山田早苗
	茶田美栄子	原道子	住本節子
	岸上知則	多治美左智子	大西佑知子
		柴田直美	岡崎和子
		松倉陽子	木下圭子
		上中居恵理	境公子
			黒木美穂子

オフィス家具 OA機器 事務用品
—KOKUYO代理店—

セイコー山中株式会社
代表取締役 山中清利
(高校20期)
本社 〒563 大阪府池田市城南3-11-3
TEL 0727-51-3010
FAX 0727-53-5160

(高三十五期)	野下 真鍋佳津子
(高三十六期)	高山健志
(高三十七期)	中野敦子
(高三十八期)	林秀一
(高四十九期)	池田郁子
(高四十期)	榎道孝
(高四十一期)	菊池正治
(高四十二期)	加藤弘
(高四十三期)	古谷博行
(定四期)	内藤都宮晴美
(定期六期)	宇都宮晴美
(定期十九期)	
(定期二十期)	

編集後記

自動販売オペレーター・業界のパイオニア

自動販売機に依る食品、ソフトドリンクのサービスがくつろぎの広場をつくり出します。



UCC 上島珈琲株式会社・藤沢薬品株式会社
サントリーフーズ株式会社・ネッスル日本株式会社

オーソライズドオペレーター

金井自動販売株式会社 代表取締役 金井治夫(高校4期)

各期代表理事

期	氏名	電話	期	氏名	電話	期	氏名	電話
女1	越水ユリ	06-852-8755	高23	後藤保二	06-373-7380	定12	笛部修造	06-852-0475
女2	北川富美子	0798-74-3024	高24	村山哲	06-306-5852	定13	中岸澄江	06-843-5753
女3	若松栄	0727-62-6287	高25	井上健	06-878-7393	定14	杉本土生	0727-28-1497
女4	小林三七子	0797-71-1064	高26	金ヶ江裕之	06-852-1224	定15	北浦修	06-333-4833
女5	内藤葉子	06-849-1464	高27	川口真理子	06-834-3946	定16	前田政治	06-855-8451
女6	青木操子	06-843-2552	高28	市田隆士	06-347-8042	定17	中島健二	0727-22-8153
女7	進藤鈴代	06-832-3284	高29	寺田美智子	06-493-1282	定18	飯田悦弘	06-855-3440
女8	中村陽子	06-844-1570	高30	木村慶子	06-853-9213	定19	樋原洋一	0727-21-1124
高1	安井道代	0797-86-3831	高31	榎香世子	06-393-7216	定20	堀健次	06-878-5694
高2	小西満子	06-862-7360	高32	竹田伊都子	06-332-4076	定21		
高3	谷田探成	06-314-0550	高33	池本清人	06-866-6789	定22	高橋博行	0727-57-0457
高4	鈴鹿常雄	06-843-7736	高34	田尻悦子	06-337-5043	定23		
高5	宮口一郎	06-852-4859	高35	川嶋道代	0727-29-6099	定24	大町裕次	06-862-7083
高6	一色貞輝	06-852-3962	高36	安藤昌博	06-832-7930	定25	片山勝重	06-843-6443
高7	松浦峻	0798-26-5531	高37	味元士	06-854-5097	定26	稻井幸雄	0727-28-0955
高8	森田司朗	06-872-3329	高38	堀田繁	06-841-0598	定27	真下保	06-385-6190
高9	小林武夫	0727-62-5143	高39	須崎康広	0727-52-6441	定28	寒川悟	06-607-0580
高10	唐渡吉則	0727-52-4548	高40	浅谷美和	06-862-6896	定29	大涯池みゆき	06-333-5761
高11	田中渡	06-852-2923	高41	坂口大介	06-303-4831	定30	松野妙子	06-863-2565
高12	谷木光一	06-855-5858	高42	東紀江	06-371-5696	定31	高畑幸三	06-334-1243
高13	細川和彦	06-849-6879	高43	横尾さち子	06-854-0026	定32	繩井富美	06-857-1552
高14	吉田裕理子	0727-51-5687	定3	上田孝彦	06-853-2162	定33	清水美佳	0727-61-3323
高15	大畠光昭	06-841-8135	定4	府上恵二	06-852-7122	定34	浜田清文	06-864-6366
高16	中務公子	06-858-4509	定5	橋本昌員	06-854-0234	定35		
高17	福本育馬	06-333-6636	定6	内田喜八郎	06-856-2515	定36	平島賢司	06-863-1216
高18	北川悟司	06-843-1336	定7	月川憲一	06-849-4773	定37	渡部二郎	06-863-0058
高19	奥田敏輝	06-843-9397	定8	村田毅	06-976-0280	定38	三浦智幸	
高20	山中清利	0727-51-4408	定9	大谷収	0720-44-2311	定39	杉岡考一	06-855-2508
高21	山本登志恵	06-924-3544	定10	長野昌子	06-844-0473	定40	大槻新治	0727-61-5528
高22	平本裕一	06-855-2482	定11	永井敏輝	06-852-0333	定41	奥田康弘	06-388-7339

役員選挙のお知らせ

尚和会の役員は、総会で選出され、その任期は2年です。今年は、二年目の改選になりますので、来る五月十七日の総会で次のとおり役員の選出を行います。

現役員会の推せんする候補者について信任を問うことになりますが、別に立候補される方は、総会七日前迄(五月十日)に左記に書面で立候補を申出て下さい。役員の定数は、会長一名、副会長若干名、会計二名、会計監査二名です。

尚和会役員選挙規定(抄)

第二条 役員選挙は、原則として前期の役員(会長、副会長、幹事、及び会計)の協議により定めた候補者につき信任を求める従来の慣例による

第三条 前条の他、各役員について総会七日前迄に前期の会長(以下単に会長とする)に対し書面で立候補の届出があったときは、以下の定めによる。

第六条 候補者が定数を越える役員の候補者及びその推せん者の代表は、総会会場で選挙管理委員の定めるところに従つて投票依頼についての演説をしなければならない。

(届出先)
豊中市中桜塚四一一一
桜塚高等学校内

尚和会会長 谷田探成宛

Wedding
オーキッドプラン
50名様 ￥720,000 税金・サービス料込み
追加 お1人様￥11,000

〒560 豊中市本町3丁目1番16号 豊中駅前

お問合せ・ご用命は……

ホテルアイボリー

各種パーティ・講演会・会合(謝恩会・懇ぶ集い)などにも ぜひご利用ください。

TEL.06-849-1111(代)